

能登半島地震 災害支援

なにか出来ないか、どうしたら少しでも寄り添えるのか。
継続的な支援の輪が大きく広まることを願って。



おてらcafé
OPEN
第1回2.11(日)
第2回2.22(木)
第3回 3.2(土)
報告書



●おてらカフェに参加して

木曾 千秋

私は輪島出身で、実家が被災しました。能登から集団避難した方に何か応援したいと思って、いたところ、保本所長から声をかけていただき、ボランティアに参加することになりました。

来寺された避難者の方に、飲み物を運びお菓子を勧めると、「不安だったけれど顔見知りの町民と一緒に避難できたので、少し安心感もあった。でも、お世話になり申し訳ない気持ちもある。」としんみりと話してくださいました。

避難者が偶然輪島の方で、地元の様子を教えてもらいました。自分の町の様子を話し他の町の様子を聞く中で、避難者同士の会話が繋がりはじめ、自ら話出す方が増えて笑顔も見られるようになりました。

また、話を聞く中で、避難者のお一人が亡き母の知り合いだとわかりました。気がつけば予

定時間を大きく過ぎていても話が尽きない避難者のお姿に、寧ろ私の方が元気を貰えた気がしました。

帰り際に、「おてらカフェに参加して、みんなと話ができて楽しかったわ。他の町のこともわかったし、誰かと話をする元気が出る。ありがとうね。」と何人の方が笑顔で手を振ってくださいました。

避難者の方は、現在大変な状況下ですが、遠い地でも応援している人がたくさんいることを知っていただき、少しでも元気を出していただきたいと思っています。



お話を聞き寄り添う

●被災者の皆さまをお迎えして

出雲路 香

今回、南加賀へ二次避難しておられる被災者の方々に対し何か出来ることはないだろうか？との事でお声がけを頂き、第1回・第2回「おてらカフェ」の会場としてお寺を使ってみました。

当日は、お寺に被災者の皆さまをお迎えし、教区内外のご寺院さんやご門徒さんが提供して下さいたコーヒーやお菓子を一緒にいただきながら、皆さまのお話を聞かせて頂いたのですが、「ほんのひと時でも和んで頂けたら：」という思いは一瞬にして崩れ去り、被災者の皆さまが抱えておられる悲しみや不安に対しては何も出来ないのだな：という思いが却って強くなりました。

割と明るくお話しされる方、辛そうにお話しされる方、皆さま様々ではありましたが、報道では伝わってこない当事者のお声を色々と聞かせて頂き、こちらが如何に無知であったかを改めて知らされる事となったのです。



子どもスペースあります
第1回おてらcafé(会場専光寺)の様子

それでも、このような形で「おてらカフェ」が開催された事で、何か少しでも力になりたいという想いは被災者の皆さまにもきっと伝わったのではないかと思います。たし、何気のない雑談はもちろんの事、被災者の方々にとって心置きなく不安を吐き出せる場所であつたのなら、また、その結果として少しでも心を和らげて頂けたのならば：と思います。そして、聞かせて頂いた当事者のお声が新たな支援につながれば良いなとも思いました。

今後何か出来ることがあれば継続して参加させて頂きたいと思っています。ありがとうございます。

●寄り添い続ける

中野 良成

能登半島地震により多くの方々が被災し、二次避難所として加賀地方の宿泊施設にも一時二千人を超える方が身を寄せていました。教区としてまず出来る事を模索し、被災者の皆さんに寄り添い支援する事を目的にお寺カフェを開催しました。

参加された方たちからは日常が一変し、家を失い、大切なものを失い、故郷から離れて暮らす寂しさや不安の声を聞かせていただきました。

小学生のお子さんの母親は明るい様子が避難所生活の不便さや一日何もすることがないことを笑って話されていました。



会場は片山津温泉の成善寺さんです。お寺の本堂でゆっくりお茶しませんか？お気軽にお立ち寄りください。お持ち帰りもOK！お車の送迎あります。ホテルロビーに集合してください。

メニュー：コーヒー、紅茶、緑茶、ほうじ茶(加賀椿茶)、焼き菓子、和菓子 etc. 小道具・ジュース あり

会場：成善寺(じょうぜんじ) 〒922-0412 石川県加賀市片山津温泉23-1 問合せ：小松大聖寺教務所 TEL(0761)22-0555

主催：真宗大谷派(東本願寺) 小松大聖寺教区 ボランティア有志

わんちゃんに一緒OK！おやつあります
ご来場者タオルプレゼント
タオル引換券



わんちゃんご一緒OK！おやつあります
第3回おてらcafé(会場成善寺)の様子

せんでしたが、改めて寄り添い、共感し、この困難な状況を共に生きていくことが必要だと感じました。

支援の形は日々変わっていきます。教区として共に考え、継続的な支援の輪が大きく広まることを願っています。

第3回おてらcafé案内

この先の学校生活や倒壊した家のこと、生活をどう立て直していくかに話が及ぶと不安と絶望的な表情をされていました。私はただうなずき、聞くことしか出来ません。

●おてらカフェ報告感想

飯貝 宗淳

2月半ば、大聖寺婦人会の方達から、アパホテルの避難者には行政関連の支援は入っているが地域のボランティアとの関りは全くないという耳にしたため、企画したイベントでおてらカフェの案内をさせていたいただいたところ、11名中10名が参加してくださった。

私が送迎した方3人は輪島市門前町から来た顔見知り同士だが、アパの避難者同士の横のつながりや交流はほぼ無いとのことだった。「早く（門前に）帰りたい」「水さへ戻ればすぐにでも帰りたい」との言葉が特に耳に残っている。

40代後半の男性参加者からは「1・5次避難所では避難者同士顔を合わせる機会があり交流もあってまだよかったが、アパでは全くない」とお聞きした。男性の母親はもとと能登で施設に入所しており、今はあわら市の施設へ移送されたとのことだったので、後日その施設へ連れて行った。

第3回の成善寺さんでは輪島

から来た方の話を聞かせていただいたが、ジュース一杯で2時間弱話し続けていた。色んな事をお聞きしたが特にホテルへの不満や、昼夜の食事（お弁当）をエサだと仰っておられたことが特に残っている。

第2回はほぼ送迎だけ、特に何も準備せず、ハンセン病療養所での交流研修会のように世間話ができたらいいな、その中で何か聞かせていただけたらいいなという気持ちで参加した。送迎の車内で上記の「帰りたい」との言葉をお聞きして、何ができるか自分なりに考えてみたが、帰るために直接できることは思いつかず、第3回に向けて輪島市など行政の発信している情報を一通り確認することくらいだった。なんとなく後ろめたさを感じているが、今後、自分にできることを考え、できることをやっていこうと思う。

●ここをスタートに

馬場 季晋

元日に発生した能登半島地震の被災者が、栗津・山代・片山津に2次避難されています。加賀市によると身を寄せる避難者は32のホテル・旅館に約1800人（2月25日時点）。何か地域のお寺として、僧侶として出来ないか、どうにか交流を持てないかとの思いがありました。

そんな中、教区有志5名を中心に、おてらカフェを手探りながら開催する運びとなりました。教区内寺院に、お菓子やコーヒーなどの飲み物の提供を呼びかけましたところ、驚くほどのスムーズに沢山の物資が集まり、

スタッフも毎開催事に20名ほどが集まりお力を貸していただきました。

寺院として僧侶としてだけではなく、ひとりの「人」として、素直に苦境の闇におられる方々に、「何か出来ないか」「どうしたら少しでも寄り添えるのか」という確かな気持ちを各々から感じました。この気持ちがあれば、今後どのような活動をしていく上でも選択肢が広がります。一人ひとりの力が集結する大切さが身に沁みました。ご協力いただきました有縁の皆様有難うございました。ここをスタートにまたよろしくお願いいたします。



参加者に渡したメッセージカード
not alone "ひとりじゃない"
大好きな能登の復興を願って

●おてらカフェ参加者数

第1回 2月11日（日）

会場：山代温泉 専光寺

参加者約25名

第2回 2月22日（金）

会場：山代温泉 専光寺

参加者約40名

第3回 3月2日（土）

会場：片山津温泉 成善寺

参加者約20名

●ボランティア参加者（敬称略）

飯貝宗淳、飯貝温子、家山倫子、

井家熙、出雲路香、出雲路雅、

大家篤士、面俊、加藤彰教、

加藤智大、加藤雅輝、加藤輝一、

木曾千秋、佐竹融、新康紀、

但馬諒、但馬末利花、谷口淳子、

龍山寛、辻村隆佳、中野良成、

畠山三和子、馬場季晋、馬場美佳、

日野暁洋、藤懿まり子、藤伊滋、

前川賢真、松永悠、宮崎護、

山本証真、山本衣子、芳原里詩、

渡邊愛子、保本所長、員辨書記、

辻囑託、寺本駐在



●【おてらカフェ会計報告】

収入	
品目	金額(円)
活動資金カンパ	13,000
計	13,000

支出		
品目	金額(円)	備考
ドリッパー	693	カルディ
サーバー	650	イオン新小松
ペーパーフィルター	350	イオン新小松
ドリップポット	2,423	イオン新小松
ハガキ	220	ダイソー
レースペーパー	998	240枚(Amazon)
ワンコおやつ	4,250	カーマ
コーヒー豆	1,770	キャラバンサライ
水(2L×6本)	570	ゲンキー
次期繰越金	1,076	
計	13,000	

たくさんの方のご協力誠にありがとうございます。
今後とも息の長い支援をしていきます。

提供していただいた
たくさんの方のコーヒー、お菓子等

